

# 2019(令和元)年度事業報告

2019(平成31)年4月1日から2020(令和2)年3月31日まで

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

## 1 事業実施の概略

「東日本大震災から10年」という表現がメディア等で見られるが、未だ沿岸部のハード整備は続けられているのが現状である。数度の転居を強いられた結果によるコミュニティの分断の課題は、最悪の場合、孤独死という深刻な現実となって表面化する。もともと東北地方に存在する若者流出や過疎化などの問題も重なっている。さらに、原発事故を抱えた福島県では、仮設住宅家賃供与の停止や避難指示の解除など、帰還政策が実行されるなか、肝心の県民の意識が追い付いていない。個々の抱える課題は、ますます深刻化・個別化している。

一方、平成30年7月豪雨では、複数県にまたがる広範囲な被災となり、これまでの支援の方法には限界があり、一層の支援団体ネットワークの充実が急務であることが明らかとなった。

こうした現状を踏まえ、宮城県七ヶ浜町での継続的支援は、生の声を聞き、被災者のニーズに対応してきた当法人への期待となって、住民からの支持を得ており、本年度もスタッフを常駐させた。「みんなの家きずなハウス」は、地域の賑わい・憩いの場として位置づけが増している。また七ヶ浜の中学生をはじめとする、自分たちの町の魅力を伝えたいと積極的に活動している若者へのサポート活動を継続する。愛知県への県外避難者への支援は、愛知県被災者支援センター運營業務を通じて継続した。また、福島県民の生活再建支援（帰還支援含む）と交流事業も継続した。

集中豪雨水害に対しては、タイムリーな支援と同時に、避難所環境改善支援や技術系ボランティアなど専門性のある支援がムラなく行えること、また、JVOADの枠組みを活用しつつ、災害支援団体間はもちろん、内閣府、地方自治体、企業等多様なセクターとの連携強化をめざした。

平常時の活動では、地域や子ども向け防災啓発活動、避難行動要配慮者支援、避難所運営、外国人支援などをキーワードに、地域ニーズに沿ったアプローチを丁寧に開拓・提供していくことを忘れず、以下の事業を進めた。

2020年2月下旬以降は、新型コロナウイルスの影響でイベントや講演会の中止/延期が相次ぎ、影響がでた。

## 2 事務局体制

【名古屋事務局】専従職員4名、嘱託職員4名、アルバイト3名

【七ヶ浜みんなの家きずなハウス】嘱託職員3名、アルバイト4名（現地採用）

【愛知県被災者支援センター】派遣嘱託職員1名、派遣アルバイト4名

## 3 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

被災者支援事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
緊急救援	RSY	<p>■長野市 内容については、★ポラポ 台風19号助成金事業の項目を参照</p> <p>■資機材送付（武雄市9月6日、長野市10月15日・24日）、 資機材返却（武雄市3月27日、長野市3月13日）</p> <p>■長野市災害VCへのなごや防災ボラネットメンバー派遣の調整、 ■名古屋で支援活動報告会実施（12月19日、73名）</p>
「うるうるパック」発送	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）	<p>資機材倉庫活用事業（3NPO・物資管理を含む） 広島県10市町、愛媛県大洲市にうるうるパック3,135パックを発送</p> <p>5月23日：東広島市（225）、江田島市（90）、府中町（20）、海田町（200）、熊野町（200） 6月25日：尾道市（200）、三次市（200）、庄原市（100） 6月26日：三原市（1000）坂町（400） 7月8日：愛媛県大洲市（500） 台風19号で被災した宮城、栃木、茨城、長野10市町にうる</p>

		<p>うるパック 4,480 パックを発送  11月1日：宮城県大崎市（100）  11月11日：宮城県涌谷町（120）栃木県鹿沼市（250）足利市（500）茨城県常陸太田市（150）常陸大宮市（180）大子町（280）佐野市（500）  11月25日：長野県長野市（1000）  12月2日：宮城県大崎市（300）  12月19日：宮城県丸森町（1100）</p>
七ヶ浜町基本支援	RSY	<p>■みんなの家きずなハウスの運営（駄菓子・ポーちゃん焼きの販売、コミュニティスペースの運営）  ■外部支援者の受け入れ・コーディネート  4月17日/松田曜子理事の紹介で、アイスランドの方が来訪。東日本大震災で被災した町民へのインタビューを取り次ぎ  4月24日/重油漏れ事故による七ヶ浜でのり養殖中止を受けて実施した、のり養殖関係者への募金を宮城県漁協七ヶ浜支所へお届け  ■町民の交流・活動サポート  5月3～5日/アートワークショップ開催/延べ108名  5月6日/復興記念花浜ウォークラリー協賛/約200名  6月26日/七ヶ浜町委託事業 2019年度人権啓発活動講演会『災害時におけるボランティア・NPOの役割～一人ひとりの人権を鑑みて』  6月26日～7月19日/『We Love 七ヶ浜』写真展～住民とボランティアがつむぐ復興への歩み～開催  7月28日/Happiness 主催ワークショップにきずなハウス貸出  8月17日/松ヶ浜地区夏祭りに「きずなハウス」出店  10月20日/障害者地域活動センター「あさひ園祭り」協力  11月6日/地域Co 汐見小学校農園見学協力  11月10日/SEVEN BEACH MARKET ワークショップフェアにきずなハウス貸出  12月1日/沖縄美ら海水族館提供イベント協力/125名  12月5日/亦楽小学校校外学習受け入れ/34名  12月11日/地域Co 汐見小学校町探検協力  12月17日/「今後のきずなハウスを考える」住民意見交換会/25名  1月、2月/地区新年会参加（企業等からの寄贈物品提供）  2月5日/地域Co 汐見小学校ミシン学習協力</p>
「心の復興事業」 ★七ヶ浜町補助金事業	RSY	<p>■思いやりが育む地域の力・生きがいの場づくり応援事業  ① 地域の伝統行事「ちゃせご」の各地域への展開  2月8日/笹山ちゃせご/29名  2月22日/菖蒲田浜ちゃせご/77名  ② きずな食堂開催  10月16日/きずな食堂@松ヶ浜/50名  11月16日/菖蒲田浜地区ぼつけ汁祭り/約140名  12月15日/花浜地区クリスマス交流会/約80名  12月24日/きずな公園美化活動/6人  2月8日/代ヶ崎浜もちつき大会/約100名  2月29日/きずなハウスフェスティバル/約20名（規模を縮小して開催）  ③ チャレンジキッチンの開催【コロナで中止】  ④ きずな号の活用による、出張きずなハウス  毎週金曜日開催/34回実施、延べ163名  3月15日/事業評価会議/8名</p>
絆力	RSY	<p>■地域活動ネットワーク「きずなネット」の推進と安心して暮らせるまちづくりへの支援事業  ①学びと活動の場の提供</p>

<p>★宮城県補助金事業</p>		<p>5月21日、7月25日、10月29日、1月15日/きずなネット 会議開催/延べ41名 9月15日/第1回「んだっちゃ塾」開催/16名 11月9日/第2回「んだっちゃ塾」開催/13名 11月23日/被災地学習・交流日帰りバスツアー/36名 1月18日/第3回「んだっちゃ塾」開催/14名 2月6日/被災地学習・交流バスツアー（受け入れ）、復興み なさん会（南三陸町）/8名 2月23日/第4回「んだっちゃ塾」/10名 9月12日（布の裁断）、2月23日（メッセージ記入）、3月4 日（フラッグ作成）、3月11日（フラッグ掲揚）/オレンジフ ラッグへの参加/延べ30名 ②「七ヶ浜みんなの家きずなハウス」での集いの場作り（賛 同団体の活動サポート、ファームガーデンの緑化） 8月3日、9日、9月16日、23日、25日、27日/おりおり 「藍の生葉染め」ワークショップ/延べ53名 9月21日、29日/「七ヶ浜ファームガーデンにハンモックを 作ろう」ワークショップ/延べ10名 10月16日、12月11日/サテライト花壇設置（松ヶ浜地区災 害公営住宅、菖蒲田浜地区災害公営住宅） 12月8日/ファームガーデン活用講座～野草を使った非常食 作り～/24名 7月2日、17日、1月20日/きずなFプロ/町内小学校・幼稚 園での震災伝承の紙芝居上演 3月15日/きずなネットまつり【コロナ中止】</p>
<p>環境にもやさしく災害 にも強い、人づくり、町 づくり ★セゾンレゾン助成金事業</p>	<p>RSY</p>	<p>きずなハウスファームガーデンの利用者がエコの視点から環 境保全に取り組み、その延長にある防災についても学びを得 る事業。 5月30日/ゴーヤのカーテン設置/12名 7月13日/「アサガオでグリーンカーテンを作ろう」ワーク ショップ開催/18名 12月8日/ファームガーデン活用講座～かまどベンチを使っ た非常食作り～/24名（絆力事業と同時開催） 3月28日/鳥の巣箱づくり、ファームガーデン植物図鑑づく り【コロナ中止】</p>
<p>東日本大震災関連 ネットワーク</p>	<p>JCN</p>	<p>■東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）への参画（9月27 日・3.11の今がわかる会議 in 名古屋のアテンド、3月19日 岐阜県広域避難者支援連携会議） ■愛知県被災者支援センター（愛知県委託事業/事務局担当） ■東日本大震災支援ボランティアセンターなごやへの参画 （運営会議への参加）</p>
<p>県外避難者支援</p>	<p>RSY</p>	<p>愛知県被災者支援センター業務・福島県受託事業の運営、活 動を通じて繋がった被災者を対象に、サロン活動など。</p>
<p>福島県県外避難者への 相談・交流・説明会事業</p>	<p>ふくしま連携復興 センター</p>	<p>■福島県から岐阜・三重の2県に避難している方の帰還や定住 等の生活再建に向けた相談窓口の開設：4～2月相談件数12件 （内9件はADR申立てについて）。■避難先での交流会、相談会 の開催：6月23日岐阜甲状腺検診&amp;意見会、避難者7世帯24 名参加（他に医師、復興庁、岐阜県職員、支援団体等30名参加）。 第2回岐阜甲状腺検診&amp;交流会3月22日【コロナ中止】</p>
<p>福島県ふるさとふくし ま交流・相談支援事業 ★福島県補助金事業</p>	<p>RSY</p>	<p>■岐阜・三重県に避難している世帯への戸別訪問、出張相談：6 ～2月9世帯。■愛知・岐阜・三重の3県に避難している世帯 を対象にした、福島県交流相談会の開催：11月16日いわき市 交流・相談会、避難者10世帯15名、帰還者1世帯2名参加。</p>
<p>被災者の生活再建を支 えるための環境整備と</p>	<p>RSY</p>	<p>■むかわ町、厚真町にて、足湯をツールとしながら、被災者 の生活再建支援、北海道内の支援団体・個人により発足した</p>

地元支援者の育成事業 ★ボラポ 北海道助成金事業		北海道足湯隊の活動サポートを行いつつ、足湯の担い手の拡大を目指す。■足湯フォーラムの実施(6月16日)■北海道足湯隊定期ミーティングへの参加・助言(4月24日、5月29日、6月27日、7月26日、8月28日、9月25日)■名古屋で報告会実施(10月9日、20名)
応急仮設住宅における地域コミュニティ支援と地元支援者の育成事業(北海道支援) ★震つな復興基金助成事業	RSY	■むかわ町内仮設住宅の談話室を活用し、入居者をはじめとする地元住民主体の取り組みを目指す交流企画の運営サポート、北海道足湯隊の活動サポートを行いつつ、足湯ボランティアの質の向上を目指す。■北海道足湯隊定期ミーティングへの参加・助言(10月23日、11月19日、12月18日、1月21日、2月19日)■むかわ仮設の食事会(12月15日、20名)、第2回むかわ仮設の食事会3月22日・道内の足湯ボランティア向け勉強会4月25日【コロナ中止】
被災者の生活再建のための支援プログラム実施事業 ★ボラポ 8月九州豪雨助成金事業	RSY	■武雄市 ①先遣隊派遣(栗田・浦野)②生活再建のための相談会(全4回)③炊き出し「おもやい食堂」実施(全4回)
避難所および在宅避難者の生活再建を支えるコミュニティ支援事業 ★ボラポ 台風19号助成金事業	RSY	10月～3月までの取り組みとして、①避難所支援②豊野区在宅避難者への支援(炊き出し、個別ヒアリング調査、まちの縁側ぬくぬく亭運営サポート、足湯ボランティアの担い手育成)③仮設住宅転居者への個別訪問④情報発信を主軸にして活動実施。月2回現地入り計画も3月は1回【コロナ自粛】
周年	RSY・各地の被災地	■伊勢湾台風60周年行事(9月)■東海豪雨を語り継ぐ集い(9月)■阪神・淡路大震災(1月)■東日本大震災等(3月)の行事への参加は各自で黙とう【コロナ自粛】
復興支援	RSY	■被災地復興イベント支援■被災地と被災地をつなぐ。
東日本大震災犠牲者追悼式(名古屋市内で実施)	東日本大震災犠牲者追悼委員会・なごや実行委員会	愛知・名古屋のNPOなど団体が実行委員会形式で行っている追悼式。献花、黙とう、キャンドル点灯、追悼のメッセージ(宣言文)の読み上げをし、追悼と風化防止に努める→矢場公園での式典は中止し、WEB式典と称してメッセージをHP上に掲載し同時刻に各自で黙祷する形式となった【コロナ自粛】
ぼくの夢、わたしの夢 (FOR子ども支援基金)	RSY	東日本大震災で、東海3県に避難している子どもたちの叶えたい夢を応援する活動。将来の夢について作文を募集し、入選者には、その欲しいものを届け、その後の活用の様子などをレポートしてもらう企画。4回目。
<b>調査研究・出版事業</b>		
事業名	主体・協働先	事業内容
大学連携	名古屋大学	名古屋大学減災連携研究センター社会連携推進会議委員
大学連携	名古屋工業大学	高度防災工学センターとの連携事業、NPO法人達人塾ネット設立への参画など
<b>人材交流・ネットワーク推進事業</b>		
事業名	主体・協働先	事業内容
会員寄附拡大	RSY	賛助会員、寄附者拡大施策。ボランティアの拡大も含む認定NPO再申請(12月17日申請書提出)
RSY ボランティア DAY	RSY	RSY 企画の実施時に、ボランティア活動していただいた実績 4月8日/大口町倉庫/10名/うるうるパック化作業 4月12日/大口町倉庫/7名/うるうるパック化作業 5月7日/RSY 事務所/3名/あるある発送作業 5月23日/大口町倉庫/6名/うるうるパック化作業 5月29日/大口町倉庫/8名/うるうるパック化作業 6月20日/大口町倉庫/7名/うるうるパック化作業 7月1日/RSY 事務所/3名/あるある発送作業 7月8日/大口町倉庫/5名/うるうるパック化作業 8月30日/RSY 事務所/2名/あるある発送作業

		<p>9月6日/名東倉庫/10名/資機材発送作業  10月15日/名東倉庫/8名/資機材発送作業  10月20日/名古屋駅ナナちゃん人形前/12名/街頭募金  10月24日/名東倉庫/5名/資機材発送作業  10月29日/大口町倉庫/6名/うるうるパック化作業  11月1日/大口町倉庫/8名/うるうるパック化作業  11月4日/大口町倉庫/13名/うるうるパック化作業  11月19日/大口町倉庫/5名/うるうるパック化作業  11月22日/大口町倉庫/7名/うるうるパック化作業  12月5日/大口町倉庫/5名/うるうるパック化作業  12月9日/大口町倉庫/6名/うるうるパック化作業  12月12日/大口町倉庫/5名/うるうるパック化作業  12月16日/大口町倉庫/6名/うるうるパック化作業  12月19日/大口町倉庫/4名/うるうるパック化作業  1月1日/熱田神宮/22名/元旦募金  2月28日/RSY事務所/2名/あるある発送作業  3月13日/名東倉庫/14名/資機材搬入作業</p>
名古屋ネット	名古屋市など	<p>■なごや災害ボランティア連絡会/なごや防災ボラネット参画  ■三遠南信交流会参加  ■なごや環境大学教育講座実施  ■名古屋市職員研修受入</p>
愛知県ネット	愛知県など	<p>■愛知県防災会議・同幹事会出席  ■防災のための愛知県ボランティア連絡会・定例会議出席  ■あいち防災協働社会推進協議会定例会出席  ■県二年目研修生受け入れ。</p>
岐阜県ネット	岐阜県など	<p>■岐阜県災害ボランティア連絡会出席  ■清流の国ぎふ防災・減災センターコーディネータ委嘱  ■コーディネータ会議  ■げんさい楽座への参画  ■岐阜県防災リーダー育成研修講師等</p>
東海圏ネット	静岡県ボランティア協会など	<p>■静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練参加  ■同訓練ワーキンググループへの参画。</p>
全国ネット	全国のNPO・NGO・社協・企業など	<p>■東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)代表世話人・地域巡回員担当  ■災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)幹事  ■震災がつなぐ全国ネットワーク(震つな)事務局担当・代表・事業担当  ■NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)代表理事・運営委員・避難生活改善に関わる専門委員会担当</p>
NPO ネット	名古屋市内NPO等	中間支援NPOなどとの交流・連携。
中日サバイバルキャンプ	中日新聞事業部	監修、運営補助。10月13、14日。台風19号の影響で名城公園から中日新聞本社ビルに場所を変更
あそぼうさいまなぼうさい	RSY	<p>子ども向け防災イベント企画  ■いきもの語り@みよし市11月9日実施。参加者約150名  ■農業文化園戸田川緑地:11月2日、実施(10月12日は台風のため中止)参加者20名  ■とよたすまいる博@豊田市1月11~12日ブース出展 参加者約300名  ■ハッピーマフェスタ@刈谷市 2月29日3月1日【コロナ中止】</p>
海でつながるプロジェクト2019	蒲郡市	蒲郡市のボートレース場で行われる近隣住民むけ家族防災イベントの防災コーナーを担当。(7月27日は、台風の影響で中止。7月28日のみ実施。来場者500名)
防災イベント	関市上之保地区	上之保生涯学習センターで行われた防災イベントで防災コーナーを担当。来場170名(7月27日実施)
多文化防災ネットワーク	多文化防災ネットワークあいち・なごや	愛知・名古屋の災害時の外国人支援について、学び、連携を強化していく活動参加。
社会見学・学生インタビュー、インターン受け入れ	RSY	中学生の社会見学、高校生インターン、大学生インターン受け入れ
移動寺子屋事業	震つな	年6回程度、実施
養成講座・研修事業		

事業名	主体・協働先	事業内容
ぼうさいこくたい2019 in 名古屋	内閣府・愛知県・ 名古屋市	今年度は名古屋市で開催。10月19、20日。RSY独自企画「私にもできる！命と健康を守る避難所運営」WSのほか、相次ぐ災害の緊急報告会、なごや防災ボラネット、防災人材交流セミナー実行委員、JVOAD等それぞれに関わった。
みずから守るプログラム	愛知県	<p>■地区別フォーラム（水プロ防災カフェ）、コーディネータ育成など。【コロナ中止】</p> <p>■市町村自治会への個別伴奏支援。6地区。</p> <p>名古屋市緑区相川二丁目町内会：ハザードマップ作成完了 （まち歩き6月16日：参加者20名・マップ修正7月14日：参加者20名）</p> <p>安城市小川町内会：ハザードマップ最終版作成中 （まち歩き6月22日：参加者50名・マップ修正8月4日：参加者50名）</p> <p>安城市横山町内会：8月17日大雨行動訓練実施。参加者70名</p> <p>刈谷市西境地区：8月25日まち歩き：参加者80名：9月29日マップ修正。参加者70名。10月27日大雨行動訓練実施。参加者110名</p> <p>一宮市西御堂地区：9月28日まち歩き。参加者45名。11月2日マップ確認。参加者45名</p> <p>清須市新川第四ブロック：12月8日大雨行動訓練：参加者80名</p> <p>豊田市猿投台地区：1月25日大雨行動訓練：参加者70名</p> <p>2月28日水プロ防災カフェ@春日井市【コロナ中止】</p>
災害ボランティア支援 職員スキルアップ研修	岐阜県	災害ボランティアセンターの運営業務をサポートする「災害ボランティア支援職員」養成講座運営。会議運営編（7月10日）、ボラセン支援編（11月18、19日）
中学校防災講演会	大府市	市内中学校4校を対象とした講演会。
地域防災リーダー養成講座	清須市	地域防災リーダー養成のための講座。全4回
防災ネットきずこう会 支援	高浜市	事業者向け防災対策の推進、防災リーダー養成講座。防災リーダー養成講座・基礎編7月15日実施、避難所編8月3日実施、フォローアップ編9月28日、みんなで考える避難所づくり1月9日・2月20日は実施、3月の回および外国人向け防災イベント3月8日【コロナ中止】
災害ボランティアコー ディネーター養成講座	瀬戸市	災害ボランティアに関わる講演会、WS。6月23日実施
自主防災組織活性化	安城市 ・安城市社協	安祥中学校区をモデル地区に避難同行計画づくりおよび避難所開設WS・訓練を実施。（6月5日、7月3日、8月7日、9月4日、10月2日、11月6日、11月30日、12月11日、2月15日）また、市内福祉施設・当事者団体らと共に福祉避難所の開設マニュアル等を作成するワーキンググループのアドバイザーとして参加（8月29日、12月14日）
減災まちづくり研究会 運営支援	安城市	減災まちづくり研究会の企画・運営。「家具等転倒防止」と「備蓄」を継続テーマに、運営委員会（6月18日、11月25日）、研究会（7月31日、12月20日）、減災まちフェスタ2019（9月21日）、成果報告会（3月14日）【コロナ中止】
地域防災リーダー養成講座	岐阜県岐南町	地域防災リーダー養成のための講演会（11月10日）。
各務原市防災ひとつく り講座	岐阜県各務原市	地域の防災リーダーの養成（講演・WS）を4日間で実施（10月27日、11月16、17日、12月1日）
災害VC養成・フォロー アップ講座	名古屋市	災害ボランティアコーディネーター養成講座29期（10月5-6日）30期（12月14、15、22日）。フォローアップ講座（2月8日）
防災研修事業	日進市	香久山小学校区をモデル地区に避難所開設訓練（講演会1回、WS・訓練等を実施）（7月24日、9月18日、10月16

		日、11月5日、11月27日)
避難所運営訓練に係る事業	米原市	モデル地区を設定し、防災訓練に向けた防災意識の向上と要援護者対策への理解促進、避難所運営に関わる知識の向上(講演会1回、WS2回を実施)(7月23日、8月27日、9月24日)
名古屋 Shake Out	名古屋 Shake Out 実行委員会	周辺の産官学民の有志が集い、Shake Out 防災訓練を9月11日に実施。その他実行委員会3回、事前学習会(8月6日)、事後報告会(10月25日)も開催。
「減災福祉まちづくり学・演習」	名古屋学院大学	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)の一環として、講師受託。
違いを共に生きる・ライブデザイン	愛知淑徳大学	講師受託(12コマ)
災害時活動支援論・演習	愛知淑徳大学	災害時も平常時も、困っている人を見つけ、自分にできることを考え、周囲と協働しながら解決のために行動に移せる意欲と具体的な方法を身に着けるための授業の実施(15コマ)
<b>広報関連事業</b>		
<b>事業名</b>	<b>主体・連携先</b>	<b>事業内容</b>
あるある(機関紙)	RSY	年6回発行。ボランティアによる「編集会議」実施(週一回)。会員、その他関係機関などを対象に約600部。
Web	RSY	ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信
<b>各種委員会・検討会等</b>		
<b>依頼元</b>	<b>内容</b>	
内閣府	■防災教育チャレンジプラン実行委員会■中央防災会議災害対策標準化推進ワーキンググループ(栗田)■防災ボランティア活動における行政・NPO・ボランティア等の三者連携・協働に関する検討会(JVOADとして栗田)	
愛知県	■防災のための愛知県ボランティア連絡会(栗田・浜田)■愛知県防災対策有識者懇談会(栗田)■あいち防災協働社会推進委員会(栗田)■愛知県防災会議(栗田)・同幹事会(浜田)■愛知県防災人材のあり方検討会(栗田)■愛知県みずから守るプログラム有識者会議委員(栗田)	
岐阜県	■清流の国ぎふ 防災・減災センターコーディネータ(栗田) ■岐阜県災害ボランティア連絡会・岐阜県災害ボランティア連絡調整会議(栗田) ■関市災害ボランティア連絡調整会議(浦野)	
名古屋市	■なごや災害ボランティア連絡会(栗田・浜田)■地域福祉に関する懇談会(栗田)■交通問題調査会委員(浜田)	
安城市	雨水マスタープラン策定審議会(浜田)	
岐阜県美濃加茂市	みのかも定住自立圏第3次共生ビジョン懇談会委員(栗田)	
名古屋環境大学	活動サポートチーム委員(浦野)	
名古屋市みどりの協会	戸田川賢人会委員(浦野)	
愛知県社協	市町村社協災害対応支援部会(浜田)	
名古屋国際センター	アドバイザー委員会(栗田)	
中央共同募金会	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員(浦野)・幹事(JVOADとして栗田)	
静岡県ボランティア協会	南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会(浦野)	
日本災害復興学会	理事(浦野)	
浜松医科大学	令和元年度厚生労働科学研究「災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究」究協力者(浦野)	
<b>非常勤講師</b>		
<b>依頼先</b>	<b>内容</b>	
至学館大学	人間力形成VI(災害・救援系)(栗田)	
岐阜大学	防災リーダー育成講座(栗田)	
<b>被災地スタディツアー事業</b>		
<b>事業名</b>	<b>主体・連絡先</b>	<b>事業内容</b>
スタディツアー	RSY	1.17 阪神・淡路大震災等

収益活動に係る事業

事業名	事業内容
印刷代	輪転機・コピー機の有料使用
書籍販売	冊子「避難所運営の知恵袋・改訂版」、震つなブックレット等の販売
物品販売	耐震DVD/防災紙芝居の販売。セキ浜きずなハウス/オリジナルグッズの販売。
防災用品の開発・販売	防災グッズ(じしんだゾウさんてぬぐい、紙ぶるる等)

#### 会議の開催に関する事項

会議名	日程	時間	場所	議題
<b>総会</b>				
通常総会	6月30日	15:00~16:00	名古屋建設業協会1階会議室	① 2018(平成30)年度事業報告の承認 ② 2018(平成30)年度決算報告の承認 ③ 2019(平成31)年度事業計画の議決 ④ 2019(平成31)年度予算の議決 ⑤ 役員の変更について ⑥ 定款の変更について
<b>理事会</b>				
第1回理事会	6月14日	19:00~21:00	久屋事務所	① 2018(平成30)年度事業報告案・決算案 ② 2019(平成31)年度事業計画案・予算案
第2回理事会	9月20日	19:00~21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 各理事からの近況報告
第3回理事会	12月20日	19:00~21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 各理事からの近況報告
第4回理事会	2020年 3月19日	19:00~21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 賞与・人事について
<b>評議員会</b>				
第1回評議員会	2020年 2月20日	19:00~20:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 評議員各位よりご意見・ご助言

2019(令和 元)年度 活動計算書

2019(平成31)年4月1日から2020(令和 2)年3月31日まで

(単位:円)

科目	特定非営利活動	その他事業	合計
I 経常収入の部			
1 受取会費			
正会員	1,140,000		1,140,000
賛助会員	1,270,000		1,270,000
2 受取寄付金			
寄付金収入	9,139,751		9,139,751
3 受取助成金等			
助成金収入	11,378,791		11,378,791
4 事業収益			
被災者支援事業	36,046,838		36,046,838
講演会事業	5,810,353		5,810,353
広報関連事業	0		0
調査研究・出版事業	1,964,600		1,964,600
人材交流・ネット事業	4,391,417		4,391,417
養成講座・研修事業	17,430,827		17,430,827
相談・助言・提言事業	1,530,187		1,530,187
スタディツアー事業	48,000		48,000
5 その他収益			
物販収入		1,518,026	1,518,026
雑収入	187,564		187,564
受取利息	426		426
経常収益合計	90,338,754	1,518,026	91,856,780
II 経常費用			
1 事業費			
被災者支援事業	39,893,467		39,893,467
講演会事業	3,237,997		3,237,997
研究調査・出版事業	765,812		765,812
人材交流・ネット事業	4,025,689		4,025,689
広報関連事業	944,084		944,084
養成講座・研修事業	6,733,674		6,733,674
相談・助言・提言事業	1,404,679		1,404,679
スタディツアー事業	202,631		202,631
助成金事業	12,211,391		12,211,391
物販仕入		621,331	621,331
事業費計	69,419,424	621,331	70,040,755
2 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	1,710,881		1,710,881
雑給	778,708		778,708
法定福利費	4,104,903		4,104,903
福利厚生費	341,771		341,771
人件費計	6,936,263	0	6,936,263

(2)その他経費			
研修費	400,480		400,480
消耗品費	655,806		655,806
賃借料	2,734,597		2,734,597
旅費交通費	1,040,480		1,040,480
通信運搬費	1,063,615		1,063,615
水道光熱費	295,579		295,579
印刷製本費	108,390		108,390
保険料	177,970		177,970
修繕費	137,581		137,581
減価償却費	45,803		45,803
租税公課	4,151,558		4,151,558
会議費	103,543		103,543
雑費	2,426,323		2,426,323
その他経費計	13,341,725	0	13,341,725
管理費計	20,277,988	0	20,277,988
経常費用計	89,697,412	621,331	90,318,743
当期経常増減額	641,342	896,695	1,538,037
経理区分振替額	896,695	△ 896,695	0
当期正味財産増減額	1,538,037	0	1,538,037
前期繰越正味財産額			81,190,429
次期繰越正味財産額			82,728,466

## 貸借対照表

2020(令和2)年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金	24,652,393	
貯蔵品	2,109,402	
未成調査支出金	3,120,957	
未収金	22,909,174	
立替金	223,515	
前払費用	23,195	
流動資産合計		53,038,636
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
車輛運搬具	3	
什器備品	3	
有形固定資産計		6
(2)投資その他の資産		
保証金	750,000	
リサイクル預託金	42,580	
基金積立預金	31,000,000	
基金預金/西田基金	7,502,314	
投資その他の資産計		39,294,894
固定資産合計		39,294,900
資産合計		92,333,536
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
前受会費	100,000	
預り金	854,886	
未成調査前受金	1,801,400	
未払費用	5,025,584	
未払消費税等	1,823,200	
流動負債合計		9,605,070
負債合計		9,605,070
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		81,190,429
当期正味財産増減額		1,538,037
正味財産合計		82,728,466
負債及び正味財産合計		92,333,536

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会)によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定に基づいて、有形固定資産は定率法で、無形固定資産は定額法で償却をしています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理しています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

内容	期首取得価額	当期取得額	当期減少額	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
設備	0	0	0	0	0	0
車輜運搬具	11,879,205	0	0	11,879,205	11,879,202	3
什器備品	1,391,210	0	0	1,391,210	1,391,207	3
投資その他の資産						
保証金	750,000	0	0	750,000	0	750,000
リサイクル預託金	42,580	0	0	42,580	0	42,580
合計	14,062,995	0	0	14,062,995	13,270,409	792,586

3. 基金の増減内訳

(単位:円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投資その他の資産				
基金積立預金	29,000,000	2,000,000	0	31,000,000
合計	29,000,000	2,000,000	0	31,000,000

4. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は82,728,466円ですが、そのうち7,502,314円は西田基金事業に使用される財産です。したがって、用途の制約されていない正味財産は、75,226,152円です。

(単位:円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
西田基金事業	8,043,867	68	541,621	7,502,314	故・西田敏子さんの遺言により寄付された被災者のための基金
合計	8,043,867	68	541,621	7,502,314	

# 令和元年度 財産目録

令和2年 3月31日 現在  
 特定非営利活動法人レスキューストックヤード  
 (単位 円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金		2,291,573	
預貯金			
普通預金	三菱UFJ銀行本山支店	10,836,987	
普通預金	三菱UFJ銀行本山支店	7,228	
普通預金	三菱UFJ銀行大津町支店	1,434,928	
普通預金	三菱UFJ銀行大津町支店	0	
普通預金	七十七銀行仙台駅前支店	840,263	
普通預金	三井住友銀行名古屋支店	319,045	
通常貯金	㈱ゆうちょ銀行	8,000,000	
振替貯金	㈱ゆうちょ銀行	47,408	
振替貯金	㈱ゆうちょ銀行	874,961	
貯蔵品	ブックレット他	2,109,402	
未成調査支出金	2020年度事業継続分	3,120,957	
未収金	愛知県防災局災害対策課他	22,909,174	
立替金	JVOAD他交通費等	223,515	
前払費用	自賠償保険未経過分他	23,195	
流動資産合計			53,038,636
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
車輛運搬具	ハイエース他2台	3	
備品	アルミコンテナ他	3	
有形固定資産計		6	
(2)投資その他の資産			
保証金	鈴与興業㈱倉庫保証金	750,000	
リサイクル預託金	車輛リサイクル預託金3台	42,580	
基金預金	㈱ゆうちょ銀行	27,000,000	
基金預金	三菱東京UFJ銀行本山支店	4,000,000	
基金預金/西田基金	三菱東京UFJ銀行大津町支店	7,502,314	
投資その他の資産計		39,294,894	
固定資産合計			39,294,900
資産合計			92,333,536
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受会費	2020年度以降会費	100,000	
預り金	源泉所得税等3月分、住民税3月分他	854,886	
未成調査前受金	中央共同募金会他1件	1,801,400	
未払費用	社会保険料他	5,025,584	
未払消費税等	2019年度確定分	1,823,200	
流動負債合計			9,605,070
負債合計			9,605,070
正味財産			82,728,466